

令和6年度 第9回

希望郷いわてモニターアンケート

課題名	特殊詐欺に関する意識調査
-----	--------------

令和7年2月

岩手県警察本部生活安全企画課

特殊詐欺に関する意識調査結果

岩手県警察本部生活安全企画課

I アンケート調査の概要

1 調査の趣旨

令和5年中の特殊詐欺被害は、前年と比較し、認知件数、被害額とも減少しましたが、令和6年中はオレオレ詐欺の被害が急増し、12月末現在で認知件数53件(+29件)、被害額は約9億7,715万円(+約9億2,648万円)と大幅に増加しています。

岩手県警察では、特殊詐欺被害を防止するため、関係機関と連携して各種対策に取り組むとともに、多様な媒体、機会において広報啓発活動を行っているところですが、今後の取組の参考とするため、アンケートを実施したものです。

2 調査期間

令和6年12月6日(金)～令和6年12月20日(金)

3 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

4 調査対象

令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名

5 回答者数

165名

6 回答者属性

(1) 年齢

～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
3	19	21	29	57	35	1

(2) 性別

男性	女性	その他・答えたくない	無回答
74	89	1	1

(3) 職業

①会社経営・役員	②会社員	③団体職員	④自営業・自由業	⑤農林水産業	
11	38	15	17	12	
⑥パート・アルバイト	⑦主婦・主夫	⑧学生	⑨無職	⑩その他	無回答
14	26	2	29	0	1

II アンケート調査の結果

【電話対策の状況】

問1 特殊詐欺被害の多くが、自宅固定電話機への犯人からの連絡をきっかけとする被害であることから、警察では犯人からの電話に出ないための対策として、ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能の活用、防犯機能付き電話機*の設置を呼び掛けています。

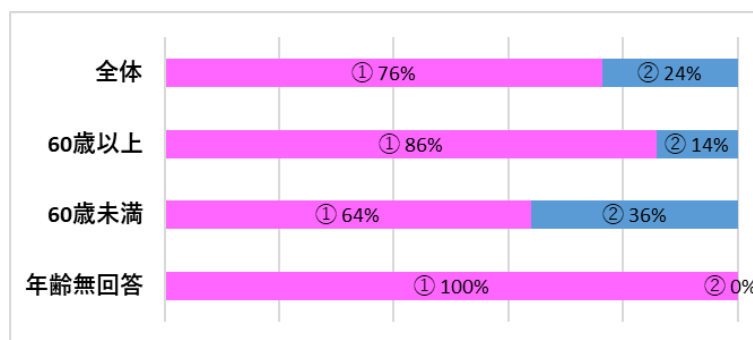
【防犯機能付き電話機とは】

番号非通知電話や登録番号以外の電話番号の着信拒否設定、自動録音機能、相手方への警告メッセージ（「この電話は録音しています。」など）の機能がある電話機。

(1) 自宅に固定電話機を設置していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(2)に進んでください。）
- ② ない（(5)に進んでください。）

	①	②	無回答
全体	126	39	0
60歳以上	79	13	0
60歳未満	46	26	0
年齢無回答	1	0	0

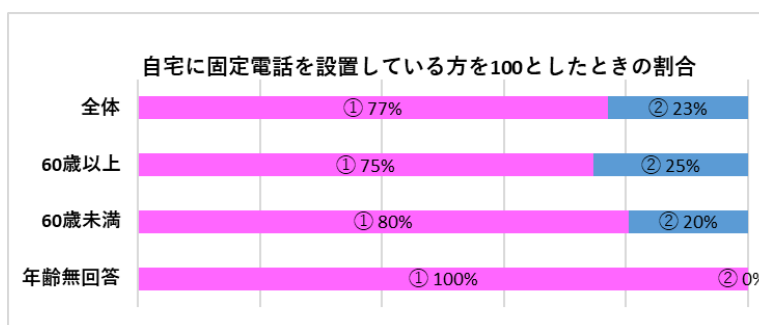


(2) (1)で「①ある」と回答した方に伺います。

設置している電話機に留守番電話機能がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(3)に進んでください。）
- ② ない（(5)に進んでください。）

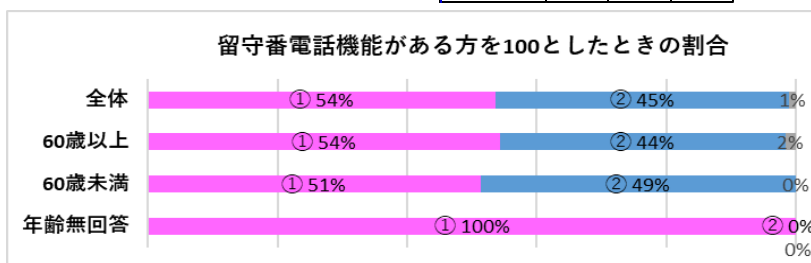
	①	②	無回答
全体	97	29	0
60歳以上	59	20	0
60歳未満	37	9	0
年齢無回答	1	0	0



(3) (2)で「①ある」と回答した方に伺います。警察では、在宅時でも留守番電話の設定を行うように呼びかけていますが、特殊詐欺防止のために常時留守番電話に設定していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① している
- ② していない（(4)に進んでください。）

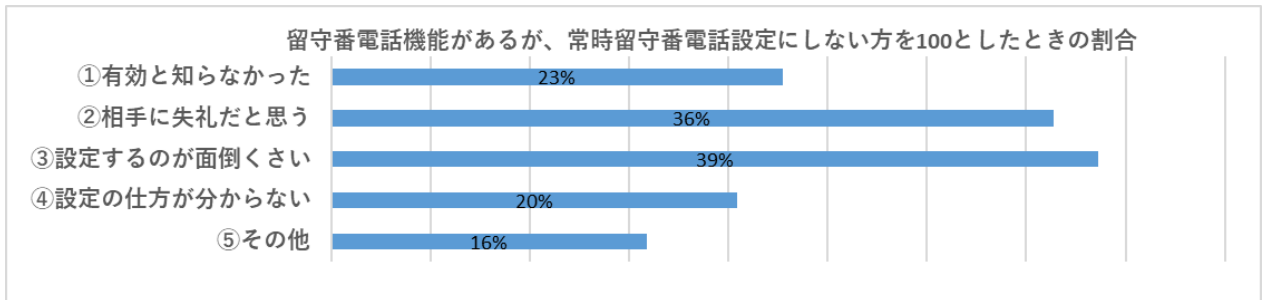
	①	②	無回答
全体	52	44	1
60歳以上	32	26	1
60歳未満	19	18	0
年齢無回答	1	0	0



(4) (3)で「②していない」と回答した方に伺います。常時留守番電話の設定にしていない理由はなんですか。当てはまるものを全てお選びください。(複数回答可)

- ① 留守番電話が特殊詐欺の防止に有効と知らなかったから。
- ② 留守番電話にしていると電話をかけてきた相手に失礼だと思うから。
- ③ 留守番電話の設定にするのが面倒くさいから。
- ④ 留守番電話の設定の仕方が分からないから。
- ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤
全体	10	16	17	9	7
60歳以上	5	8	8	7	5
60歳未満	5	8	9	2	2



【その他に寄せられた意見】

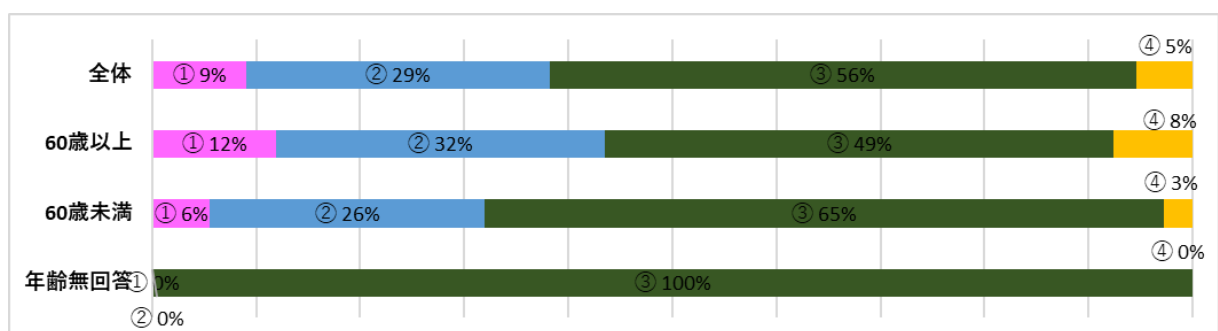
- ・ほぼ未使用だが以前から保有しているだけなので。
- ・番号登録されている電話にしかでないので。【同様意見複数あり】
- ・毎日、留守番電話を聞く時間がない（聞こうとしない）
- ・かかってきた電話には、基本的に出る事になっているので。
- ・黒電話機だから。【ナンバーディスプレイ非対応機種である旨の意見複数あり】
- ・外国人（男性）に英語で留守メッセージにしている。

など

(5) NTT 東日本では特殊詐欺被害防止の取組として、令和5年5月からナンバー・ディスプレイやナンバー・リクエストの無償化等の取組を行っていますが、この取組内容を知っていますか。

- ① 取組内容や適用条件なども知っている。
- ② 取組をしていることは知っているが、詳しくは知らない。
- ③ 全く知らない。
- ④ 既に利用している。

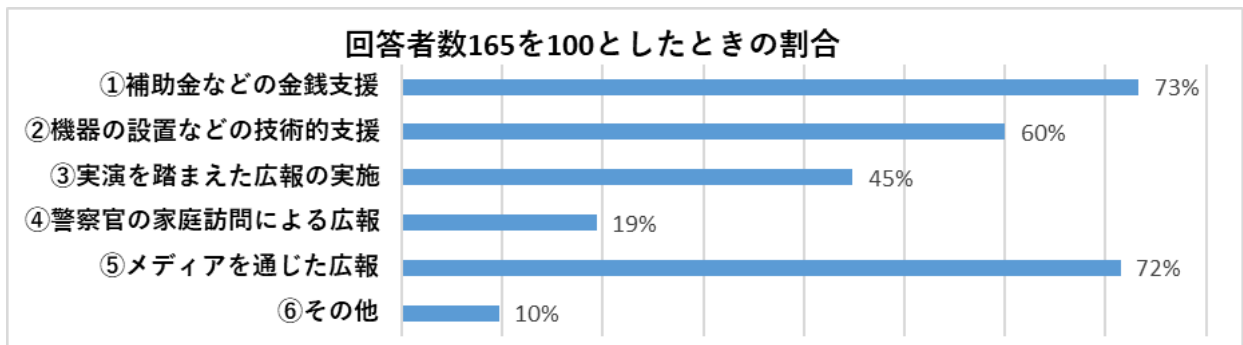
	①	②	③	④
全体	15	48	93	9
60歳以上	11	29	45	7
60歳未満	4	19	47	2
年齢無回答	0	0	1	0



(6) 防犯機能付き電話機を普及させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを全てお選びください。【複数回答可】

- ① 購入に対する補助金などの金銭的支援
- ② 機器の設置や使用方法に関する技術的支援
- ③ イベント会場での活用方法などの実演を踏まえた広報の推進
- ④ 警察官の家庭訪問時における広報の実施
- ⑤ テレビCMやラジオなどメディアを通じた広報の実施
- ⑥ その他

	①	②	③	④	⑤	⑥
全体	121	99	74	32	118	16
60歳以上	65	64	45	20	71	6
60歳未満	55	34	28	12	46	10
年齢無回答	1	1	1	0	1	0



【その他に寄せられた意見】

○ **電話機本体や購入に関する意見**

- ・直接配る。
- ・購入する際の基本条件にする。
- ・お年寄りが簡単に使えるような電話機がいい。
- ・購入時の初期設定を防犯機能オンにすることをメーカーに義務付ける。
- ・お店などで売るとき、もっとお客にわかりやすい対応をして欲しい。

○ **広報に関する意見**

- ・自治体の広報誌や回覧などで周知する。【同様意見複数あり】
- ・自治会活動などで情報の共有化を進め、警察等のセミナーを自治会単位で行なってはどうか。
- ・ロコミ。広報などで、対応電話を設置した人たちの声を載せる。
- ・注意が必要な高齢者はメディア等の広報では他人事として関心を示さない。直接、対面で説明する必要がある。
- ・小学校にて、子供に話す→家に帰り家族に話す→家族会議となる→○か×か？（話すことが多ければ良い）
- ・留守電設定を激推しして自分のことは自分で守る意識を啓発することに力を入れた方がよい。私は留守電にしてから詐欺電はまずかかってこなくなった。

○ **対策に関する意見**

- ・NTTだけではなく、KDDIもナンバーディスプレイの無償化を行ってほしい。
- ・そもそも固定電話の設置が少なくなっていると聞く、防犯機能付き電話の普及が必要だろうか。

など

【特殊詐欺被害防止広報 CM 等について】

問2 岩手県警察では、高齢者をはじめとした幅広い世代に「詐欺に気づく力」を身につけていただくため、令和6年6月から、大相撲伊勢ノ海部屋錦木徹也氏を起用した特殊詐欺被害防止テレビCMを放送しています。

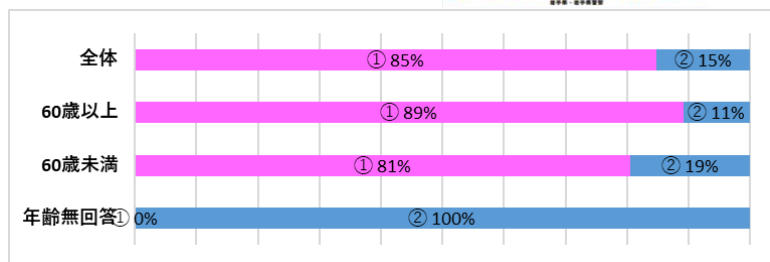


(1) アンケート前、本テレビCMを見たことはありましたか。
当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある (2)へ進んでください。
- ② 見たことはない (3)へ進んでください。



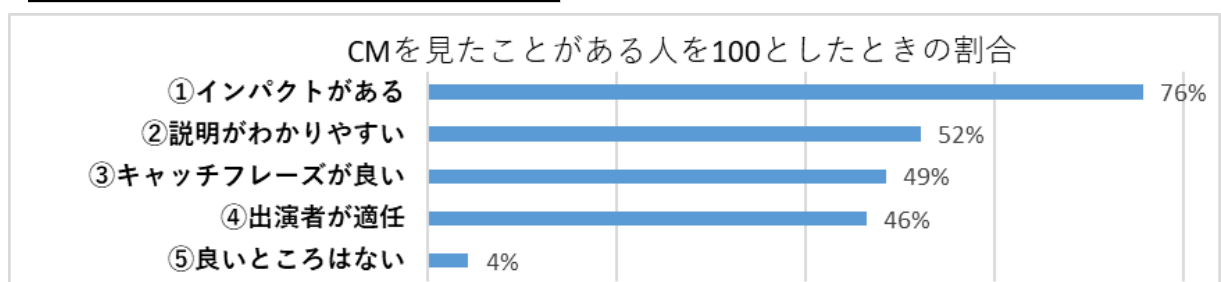
	①	②
全体	140	25
60歳以上	82	10
60歳未満	58	14
年齢無回答	0	1



(2) (1)で「①見たことがある」と回答した方に伺います。テレビCMに対する印象で当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① インパクトがある
- ② 説明(ナレーション、字幕)がわかりやすい
- ③ キャッチフレーズ(「いわて防衛」「家族で防衛」)が良い
- ④ 出演者が適任である
- ⑤ 良いところはない

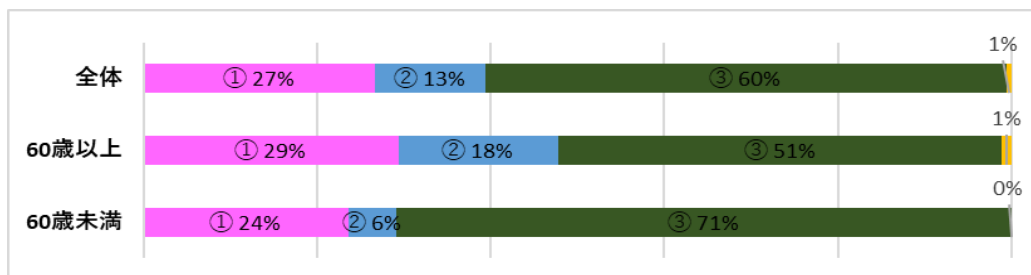
	①	②	③	④	⑤
全体	106	73	68	65	6
60歳以上	65	50	41	43	3
60歳未満	41	23	27	22	3



(3) 岩手県警察では、幅広い世代へ広報を行うべく、本テレビCMと連動した広告や動画を動画投稿サイトのYouTube(ユーチューブ)やInstagram(インスタグラム)、LINE(ライン)に掲載していますが、アンケート前にこれらの広告等を見たことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある。
- ② 見たことはないが、家族や知人から話を聞いたことはある。
- ③ 見たことも聞いたこともない。

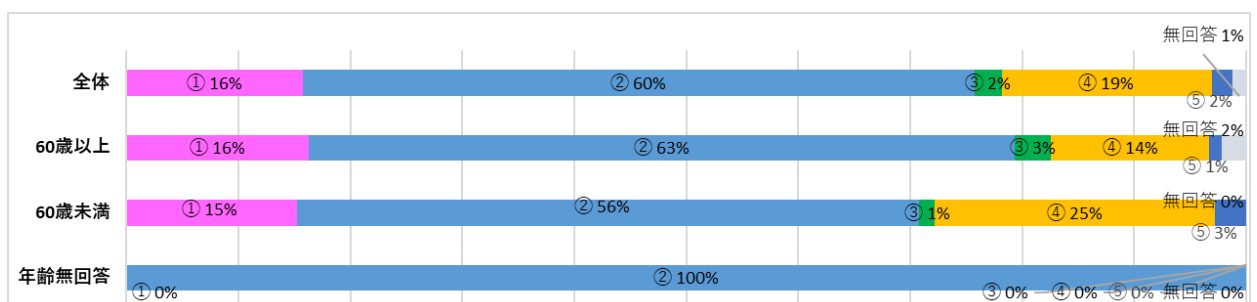
	①	②	③	無回答
全体	44	21	99	1
60歳以上	27	17	47	1
60歳未満	17	4	51	0
年齢無回答	0	0	1	0



(4) 今後、特殊詐欺被害防止のテレビCMを制作する際に、どのようなCMだと特殊詐欺被害防止に効果的だと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

- ① 特殊詐欺の被害額や脅威を伝え、危機感に訴えるようなCM
- ② 特殊詐欺の具体的な手口を紹介し、防止するための対策を伝えるCM
- ③ 家族の見守りなど「優しさや絆」で詐欺を防ごうと広報するCM
- ④ 特殊詐欺対策に関心を持ってもらえるような話題性(インパクト)を重視したCM
- ⑤ これまでのキャッチフレーズ(「いわて防衛」「家族で防衛」)を使用したCM

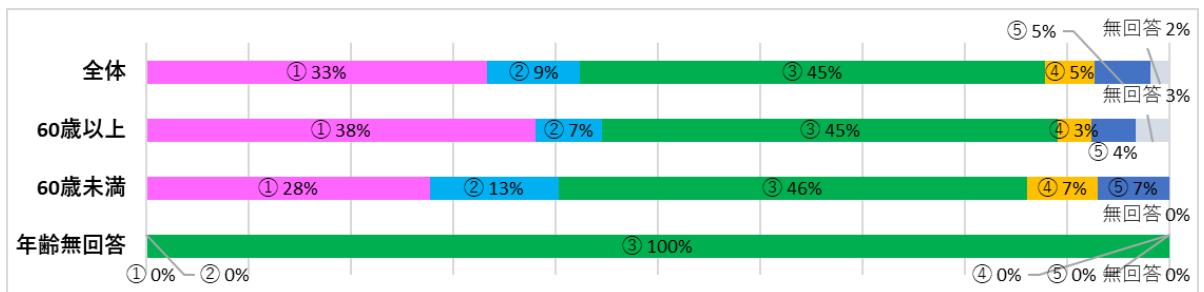
	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	26	99	4	31	3	2
60歳以上	15	58	3	13	1	2
60歳未満	11	40	1	18	2	0
年齢無回答	0	1	0	0	0	0



(5) 今後、特殊詐欺被害防止のテレビCMを制作する際に、どのような出演者(キャラクター)が適任だと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

- ① 被害に遭っている割合の多い高齢者
- ② 家族での見守りを印象づけるため、子どもや子育て世代の家族
- ③ 岩手県出身や岩手県に縁がある著名人
- ④ 岩手県のご当地ゆるキャラ(そばっちゃんなど)
- ⑤ アニメやイラストなどで描かれたオリジナルのキャラクター

	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	55	15	75	8	9	3
60歳以上	35	6	41	3	4	3
60歳未満	20	9	33	5	5	0
年齢無回答	0	0	1	0	0	0



【その他の特殊詐欺被害防止対策について】

問3 全国的に国際電話番号*による特殊詐欺電話が急増しており、岩手県内においても国際電話による特殊詐欺の電話が多数確認されているため、国際電話番号に出ない、かけ直さないように注意を呼びかけています。

【国際電話番号とは】

+1や+44などから始まる番号を言います。(例+1312345678、+44698765432)

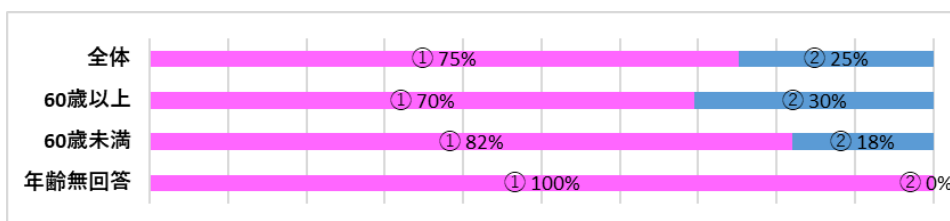
また、「010」から始まる「国際プレフィックス番号」と呼ばれる番号もあります。

「010」は海外に発信する際に使用される番号であり、被害者にかける電話番号として悪用されています。

(1) 国際電話番号による特殊詐欺が急増していることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

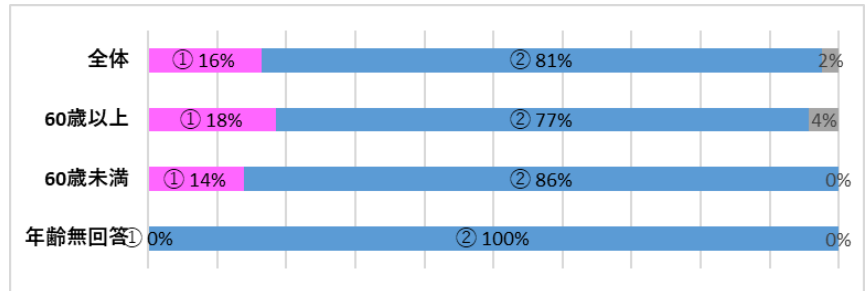
	①	②
全体	124	41
60歳以上	64	28
60歳未満	59	13
年齢無回答	1	0



(2) 固定電話やひかり電話を使用している場合で、海外との電話が不要な場合は、「国際電話不取扱受付センター」に申込みをすれば、無償で発信・着信を休止することができますが、国際電話不取扱受付センターを知っていましたか。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

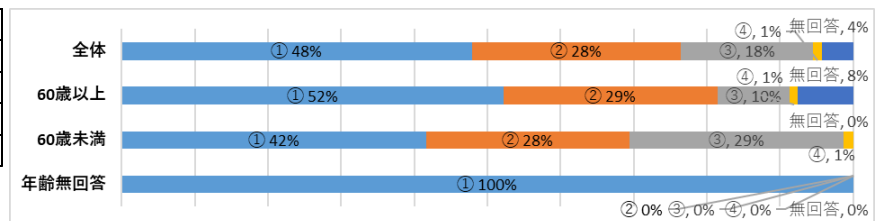
	①	②	無回答
全体	27	134	4
60歳以上	17	71	4
60歳未満	10	62	0
年齢無回答	0	1	0



(3) 固定電話やひかり電話を使用している方で、国際電話不取扱受付センターへ申込みし、国際電話の休止措置をしたいと思いませんか。

- ① 申込みをしたいと思う（問4へ進んでください。）
- ② 申込みはしないと思う（問4へ進んでください。）
- ③ 自宅に固定電話やひかり電話を設置していない（問4へ進んでください。）
- ④ すでに申込みをしている。（問4へ進んでください。）

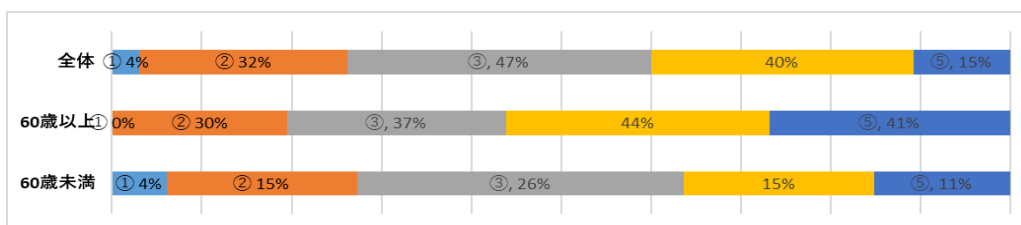
	①	②	③	④	無回答
全体	79	47	30	2	7
60歳以上	48	27	9	1	7
60歳未満	30	20	21	1	0
年齢無回答	1	0	0	0	0



(4) (3)で「②申込みはしないと思う」と回答した方に伺います。国際電話の休止措置の申込みをしない理由について、当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

- ① 日頃から国際電話番号が掛かってくるため（国外に親族や知人等が居たり、海外企業との取引があるなど）
- ② どのように手続きをしていいかわからないから
- ③ 手続きが面倒臭いと思うから
- ④ 必要性を感じないから
- ⑤ 他の防犯対策（ナンバーディスプレイ、自動通話録音機、留守番機能付き電話の設置など）で十分だと思うから

	①	②	③	④	⑤
全体	2	15	22	19	7
60歳以上	0	8	10	12	11
60歳未満	2	7	12	7	5



問4 岩手県警察及び各金融機関では、ATMに誘導された被害者に気付きの機会を提供するとともに、携帯電話で通話しながらATMを操作する方への声掛けを促すために、ATMコーナーに「STOP! ATMでの携帯電話」チラシ(右イラスト)を掲示しています。

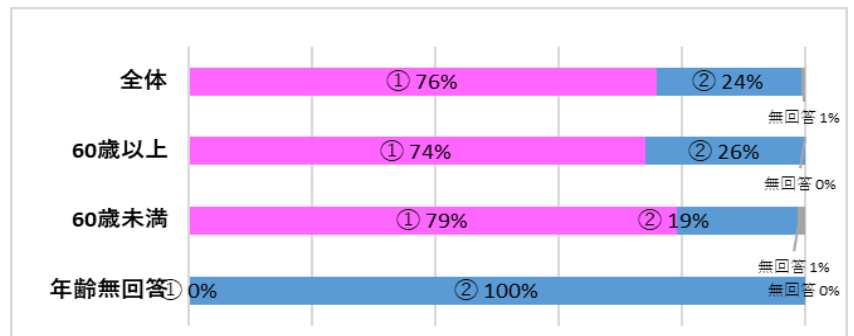


また、各窓口では警察からの要請により、被害が疑われる場合にはお声がけして、取引の経緯などをお伺いし、必要に応じて警察官と面接させていただいております。

(1) ATMコーナーで「STOP! ATMでの携帯電話」チラシを見たことはありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある
- ② 見たことはない

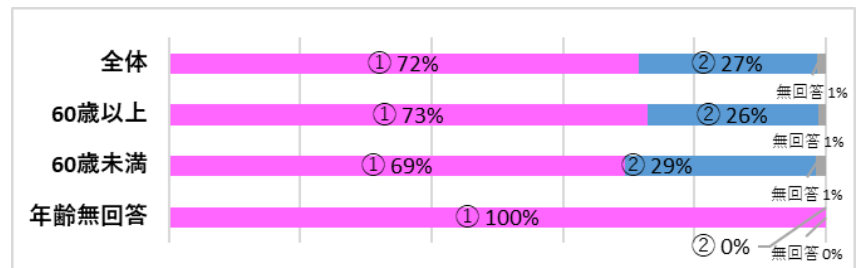
	①	②	無回答
全体	125	39	1
60歳以上	68	24	0
60歳未満	57	14	1
年齢無回答	0	1	0



(2) 金融機関の窓口で、特殊詐欺の被害防止のための声掛けを行っていることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

	①	②	無回答
全体	118	45	2
60歳以上	67	24	1
60歳未満	50	21	1
年齢無回答	1	0	0

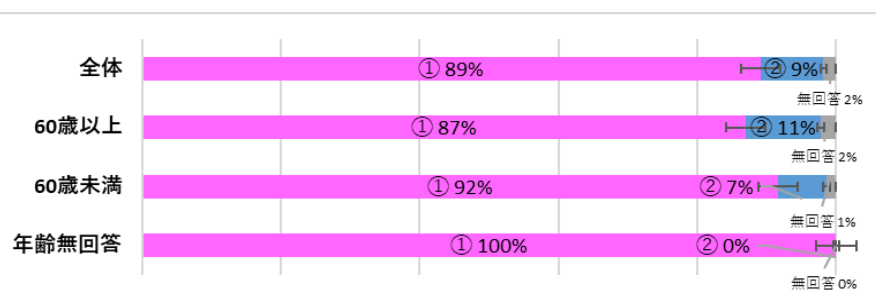


問5 近年、SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺が全国的に急増し、岩手県でも令和6年10月末で認知件数が42件、被害額が約3億1,800万円に上るなど、特殊詐欺と同等の深刻な被害が発生しています。

(1) SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺の手口があることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

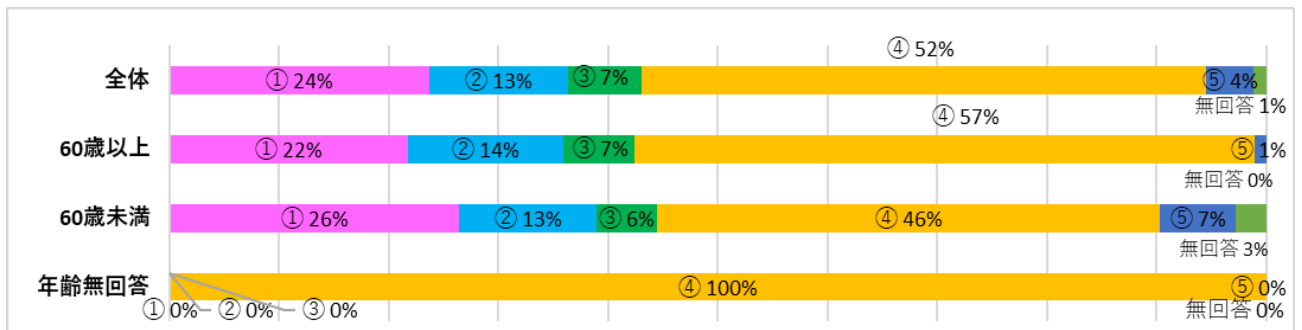
	①	②	無回答
全体	147	15	3
60歳以上	80	10	2
60歳未満	66	5	1
年齢無回答	1	0	0



(2) 今後、SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺の対策を実施するとしたらどのような取組が効果的だと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

- ① SNSの広告等を活用した広報の実施
- ② 企業や学校等における防犯講話等での周知
- ③ 巡回連絡（警察官による個別訪問）による広報の強化
- ④ テレビやラジオ等のマスメディアによる広報の強化
- ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	39	21	11	85	7	2
60歳以上	20	13	6	52	1	0
60歳未満	19	9	4	33	5	2
年齢無回答	0	0	0	1	0	0



【その他に寄せられた意見】

○ 広報方法に関する意見

- ・呼びかけ、CM等での宣伝。
- ・インターネットをあまり利用しない高齢者もいるため、市町村の広報誌での周知が良いと思う。
- ・事例の発表会、講演会の実施。
- ・岩手県内のスーパーや公民館等を会場に設け、出前講座を実施すべき。
- ・負担が多くなってくると思うが巡回が一番いいと思います。
- ・取締りの強化とSNSでの偽物を取締りカットする。

○ 広報内容に関する意見

- ・実際に起きた被害を具体的に伝える

【対策・広報全般について】

問6 今後、特殊詐欺被害をなくすために、岩手県警察にはどのような対策、広報が求められると思いますか。御意見・御要望を御自由にお書きください。

○ 広報方法に関する意見・要望

- ・告知活動することにつき、あらゆるメディアを通じての広報がすべてだろうか。特に高齢者の集まりの場などで告知していくのも大事ではないか。
- ・さまざまな事例を出して、注意点を知らしめるようなことを続けてほしいです。
- ・ご年配の方は、自分がまさか詐欺には合わない、となぜか自信を持っています。事例紹介がうまくできないでしょうか。ご年配の方が集まる場で。
- ・呼びかけ CM等での宣伝。

【問6 つづき 1】

- ・巡回の強化、街広報報強化、高齢者宅の訪問。
- ・対策が届いていない方が多くいる。当事者も「自分だけは大丈夫」と思い込んでいる人も多いのでは、息長く継続していくことでしょうか。
- ・県警の皆さんにおかれましては、県民の安全安心のため日夜業務に励まれておりますこと、感謝いたします。

県警が中心となって金融機関やコンビニを連携し、ATM や窓口で未然に被害を防ぐなど特殊詐欺被害対策が功を奏していると思います。しかし、一方で特殊詐欺の手口が年々巧妙化していることも懸念されます。

あらゆる媒体において、特殊詐欺の新たな手口を公開していますが、それによって県民に対して注意喚起になりますが、犯人側にとっては、模倣したり更なる新種の手口を編み出す起爆剤となっているのではないかと考えます。

注意喚起のための、手口公開には少し工夫が必要ではないかと思えます。

この対策はたちごっこに思えますが、地道に注意喚起をすることで県民の安全安心につながると思えます。

- ・市町村、役場を通して広報、お知らせ！！各自宅へ。
- ・詐欺の手法をワイドショーや情報番組で詳細まで紹介しない方が良いのではないかと感じております。被害者予備軍にとっては事案の紹介や危機啓発になるかもしれないが、悪意ある視聴者にとってはとても良い教材になっている可能性があるのではないかと感じていつも見えています。
- ・高齢者が利用する施設で出前授業を行い、被害事例をもとにクイズやアンケートを実施し、注意喚起する。また、中学・高校の授業で詐欺被害の現状を伝え、家族の会話の話題にすることで被害に早期に気付いたり、あわないための対策となるのではと思う。
- ・悪用する発信者の迅速な確保と取締りの強化（広報で抑止する段階は過ぎたのではないか）
- ・特殊詐欺も近年巧妙化し、パソコンのウイルスと同様黽ごっこ化してきているように思われます。特殊詐欺も国際的な組織と共に悪質な犯罪化してきているようです。

今後は、官民一体となって組織に対する対策を講じなければならないと思えます。

昨日の報道でも金融機関とのさらなる強化対策を講じたようですが、我々も地域の安全と暮らしを守るために、対策をしてゆくことが大切かと思えます。

- ・自分は大丈夫と思っている活動的な人が特殊詐欺の被害にあっていると思うので、こんな人でも欺されるんだと危機感を覚えるような表現が良いと思えます。
- ・防災無線で特殊詐欺の発生懸念事案が流れてきてタイムリーに知る事が出来ています。ただ、防災無線は屋内にいると聞こえづらいし、場所によっては聞こえない所もあります。

消防署、警察署、NTT などの名をかたつての電話が来た際には、無条件に対応してしまう年配の方が多いと思えますので、特殊詐欺対策電話の設置は非常に効果をもたらすと思えますので普及に力を入れて欲しいと思えます。我が家も対策電話を設置してから、不快な電話に出なくて済むようになり、助かっています。

- ・錦木関に本場所の土俵入りに化粧まわしをつけてもらおう（特殊詐欺防止の）。

【問6 つづき 2】

- ・身近な場所で起きていると実感できるような事件のおきた場所や被害額等を知ってもらおう。
- ・各家庭をまわるのが良いと思います。相談しやすいように集会に顔をだすとか。地域の人に顔を覚えられのおまわりさんになってほしい。余計な交通の取り締まりとかしている暇あるなら、家をまわってくれ。
- ・あらゆる場面、あらゆる広報誌、市町村での情報交換詐欺の手口を公開する。
- ・現在の対策や広報はぜひ継続して欲しいです。特殊詐欺の発生について防災無線での放送やメールでのお知らせは家族と情報を共有するのにとっても助かっています。

錦木徹也氏のポスターやCMは家族と話題にする機会も多く、効果的に感じました。

- ・特殊詐欺など判断が難しい巧妙な犯罪が広がっていることから、その手口など最新の情報を共有するような対策が必要と思われます。しかしながら、マスメディアの弱体化やネット社会の進行により、若い世代を中心に興味を持たないこと（社会的に有益な情報など）への情報に触れる機会が少なくなっているのではないかと考えられます。判断のおぼつかない若い世代であればなおのこと、防犯講話などが顔を合わせる形で事例などについて情報提供を行う機会を増やすことが必要ではないでしょうか。

また、特殊詐欺等の犯罪者予備軍とならないよう、その犯罪を犯した際の罰則やリスク、その後の人生などについて伝えることは犯罪の抑止力のひとつとなると思われます。このほか罰則を見直しより重い懲罰を与えるなどすることも、これからは必要となっていくのではないかと考えます。

- ・最近では、コンビニの店員さんのおかげで特殊詐欺の被害を防ぐことが出来た事例を新聞で読んだ。普段から勉強されているのだと感じた。

最近ではメールで、宅急便、クレジットカード、メルカリなどを語ったメールが増えてきているが、偽物のメールと本物のサイトが酷似していて、いつか騙されるのではないかと不安になる。子供たちや親に対して、騙されたりしないだろうかと心配になる。

出来れば高齢者教室や、小、中学校の家庭教育学級などで、警察の方に講師に来ていただき、親子で特殊詐欺の被害に合わないよう勉強する機会があると、みんなで考えるきっかけになると思います。

- ・自分も被害者になるかもしれないことを強くアピールする必要がある。
- ・被害者を出さないためには加害者を作らない社会が求められると思います。詐欺のような卑劣な行動は許しがたいことですが、彼らは社会のひずみによって生み出されているのではないのでしょうか。

罪を犯したら罰を受ける（償いをする）のは当然です。加害者が罪を犯していることに気付けるような、また罪を犯す前に立ち止まれるような訴えを含めた広報がもっとあると良いと思います。

- ・広報の具体案は分かりませんが、どんどん発信して特殊詐欺を撲滅して頂きたい。
- ・広報、CM等で常時流す。
- ・県内でも実際にあった事を、広く高齢者がみるようなテレビ、ラジオを通して伝える事が大事なかなと思う。ごきげんテレビや、ワイドステーションなどの番組にて。
- ・市の広報を利用して知らせる。テレビのCMで具体的に気がつくような内容のお知らせ。
- ・自分だけは大丈夫。みんながそう考えていると思う。でもいざとなった時、自分がきちんと判断できるか、将来的にもそうできるか、自分に自信が無いです。

定期的に、意識付けや注意する取り組みが必要だと思っています。

【問6 つづき 3】

- ・地域振興会や住民協議会等の連携が必要と思われる。
 - ・街頭でのPR（DJ ポリスのようなもの）
 - ・歌を作ればよいと思う。
 - ・次々に新たな手口の特殊詐欺が発生している。しかも高齢者だけではなく、若者など各年齢層に広まっている。それらは各年代に合わせた精神的弱点が狙われている。それぞれに合った対策が必要と思う。
 - ・高齢者の特殊詐欺被害をなくすためには、私を含めてラジオリスナーが多いと思われるので、IBCラジオを活用し、有名どころのアナウンサーに出演してもらいドラマ仕立て（クイズ形式も良いかも）で人気番組放送の合間に随時放送するのは、如何でしょうか？。県警警察官のCMも聞いておりますが、それよりは、効果的（インパクトあり）かと思われます。
 - ・正直、ロマンス詐欺の内容は、具体的な本人の練習や勉強で解決・改善されるときもあると思う。ぜひ、そんな場を作って。
 - ・今まで以上に、具体例をあげて、定期的に県民に呼びかけを行っていく。
 - ・電話対応したときに、知らない人の場合は「即切る」ことにしています。相手にならないことが防止の第一歩です。この趣旨を広告、広報にする。
- 「電話に慣れることも必要」私の家にもニセの役場職員を名乗る電話がきたことがあります。そのときの対応は、役場職員であろうが、おまわりさんであろうが信じないことが大切です。目に見えない電話なのでウソを言ってるかもしれないと思うべきです。私は「町民福祉課の〇〇さんですね。今、来客中のため、5分後に折り返しかけます」と一旦切り、あらためて本当の役場の担当課へ電話を入れました。「〇〇という名前の職員はいない」とわかり、サギであることが判明→町内放送で気を付けるよう広報して頂きました。知っている人にしか対応しません。知らない人の電話は一方向的に切ってよいと思っています。サギに合わないために。
- ・予兆電話があった場合、その地域の方に防災広報で注意のお知らせをしていた時がありましたが、有効と思います。
 - ・岩手県内のスーパーや公民館等を会場に設け、出前講座を実施すべき。
 - ・SNSやTVで具体的な事件を通して被害を放送したり訴えて具体的な手口、それに対する被害にあわないための方策を何度も訴える。
 - ・高齢者にわかりやすい広報。
 - ・何をどの様に対策するべきか、それらはどこで申し込みできるのかを具体的に示す。
 - ・高齢者ターゲットの特殊詐欺は、声や行動などアナログな手段によるものなので、デジタルな防御手段を用いて防御できないものかと思う。周知については、地域コミュニティの活用やご高齢の集まる場所での周知が効率的なように思う。
- SNSによる詐欺は、やはりSNSやバナー広告などデジタルデバイスを使用する人が目にする機会を増やすしかないのかな...と思う。
- ・各種メディアにて啓蒙活動を引き続き行っていただきたい。高齢者が集う集会やイベントで周知して被害にあわないよう、実施していただきたい。

【問6 つづき 4】

- ・一人暮らしの高齢者の家の周り、耳が遠いかもしれないので、文字と声で教えてあげる（繰り返し）学校でも朝の会とか報告し、教えましょう！！
- ・詐欺対策の重要性について県民に情報を伝え続けることが予防につながるので、粘り強い取組を期待します。
- ・プラス1や+44から始まる電話番号への注意喚起を一般にもした方がよい。
- ・加担している若者は安易（アルバイト的、ホワイト案件、ブラック案件）な考えで実行している者もいると思います。

防止対策の意味でも、詐欺罪の悪質性に対して重罰、量刑について具体的に広報活動を強化しては如何ですか、実行役に対し危機感（重罰）を与える必要が大いにあるのではないのでしょうか、繰り返し繰り返し広報活動をするのが必須とおもいます。

・テレビをあまり見ない人・ネットでも興味のあるところしか見ない人などに対しては、なかなか対策が難しい。家族や職場友人などで話題に上がるようなPRがあれば、直接目にしていなくても雑談の中で耳にすることがあるのではないかと思う。

- ・電話相手の真否を確認させたり、即答しない等の徹底を促す対策をする事。
- ・田舎に住む人（特に高齢者）は、ニュースなどで特殊詐欺の報道があっても、どこか遠い場所や都会の話と捉えているように思う。また高齢者は、報道やCMを見ての間は気をつけようと意識しても、目の前の事を対処する事に気を取られて時間が経つとCMの事も忘れてしまう。

そこで、固定電話がある場所や普段よくいる部屋から見える所に「その電話、メールは詐欺かも！」のように注意喚起するステッカーを貼るのが良いのではないかと思う。警察または自治体から、詐欺被害の実態や詐欺に注意する内容のチラシと共に、ステッカーやシールなどを配布し、被害防止のために必ず貼るよう求めているかがでしょうか。

- ・実際にあった詐欺の事例(こんな内容の電話が来て、こんなことを聞かれて等々)を出来るだけ具体的に知らせるようにする。また、お金の振込みを扱う機関(銀行・郵便局・コンビニなど)への、詐欺に対する協力をお願いと徹底。
- ・詐欺の手口、内容、実態、被害額を早く県民に知らせる。犯人の氏名、顔写真、判決内容を県民に知らせる。不起訴はなしにして、初版でも実刑にしてほしい。
- ・岩手県警のYouTubeやSNSでの広報を全く見たことが無く、今回のアンケートで知りました。もっと大々的に広報するか、インパクトのある内容にした方が良かったのでは？と感じています。普段から興味を持ってもらえる内容の広報を行い、フォロワーを獲得する等のSNSの活用が必要なのではないでしょうか。
- ・詐欺の例の周知。
- ・被害にあった人の内容、手口等の事例を広報。
- ・固定電話で着信拒否の手続きをしても、利用者である高齢者にいくら説明しても理解できない、使いこなせないことがよくありました。いくら広報しても高齢者には伝わらないので、身近な家族が見守るしか手立てはないのかなあと感じます。

【問6 つづき 5】

- ・警察官による高齢者世帯へのサギ手口のチラシ配布と声がけ。
- ・高齢者向けには SNS よりテレビやイベントなどでの広報を増やしていただきたいと思います。
- ・前問までの選択肢と重複する部分もあるが、しつこいと思われるくらい繰り返すことが必要。
- ・様々な手続きを取るの面倒くさく、特に高齢者は今ここを変えるのを嫌がる。家族や身近な人に言われるともっと嫌がる。

なので留守電設定をさせることに行政、警察、社会が集中してはどうか。留守電にしても人との関わりは途切れないことを具体的に示していくとか、かける人も留守電を受け入れることも必要なことを示していくことが大事。

かかってくる人は限られているのだから自分、家族、ショップ、福祉施設、公民館などの行政が登録をするといいと思うしそのことを広報していくのはどうか。固定電話は留守電にしても相手が名乗れば途中ででられるし、困ることはないことも具体的に広報していけばと思う。

・各市町村の広報は目にする事（人）は多いと思うので、詐欺防止のチラシ等を広報と一緒に年数回配布の実施。

- ・詐欺の手口の公開を行う。知っているのと知らないのであれば被害に合う可能性が低くなる。
- ・被害の水際となる場所への巡回と声掛け。自宅訪問による声掛け。電話会社等と名乗り、その後警察官役にかわるケースへの注意かけ。何かあったときには、自分ひとりで判断し行動しないで、必ず誰かに相談するよう指導。

・現代は便利な時代であるが、使い方を間違えると大変なことになると痛感しています。かわいい動物の写真クリックしただけで、詐欺に繋がっていく事を体感したので、それ以来 簡単にアクセスしないとか気をつけていますが、もっと伝わる広報活動が必要だと思います。公民館の玄関先にポスターアップルするとか、「これ何?」「実はね」と職員さんから教えられること等で、高齢者には身近で役立つ広報活動になると思います。

○ 特殊詐欺被害防止広報（テレビCM等）に関する意見・要望

- ・イケメンがコマーシャルするのいいと思います。
- ・特にご高齢の方がテレビをよく見ている時間にしつこいくらいに注意喚起する。
- ・広報で周知するより“リアルなテレビ番組”（ニュース 24 時のような）制作がよい。高齢者が見る。
- ・自分には関係ないことのように思っています。同じように思っている方が多いのではないのでしょうか。現実的には、知らないうちに巻き込まれてしまうことがあると思うので、テレビ等で情報公開をし、今こんな事例が多く発生していると、即座に広報してもらえればと思います。
- ・お年寄りには留守番電話を嫌い、かかってくる電話に出たい人もいます。まず、高齢者の意識を変えてもらうことも必要だと感じます。

親しみやすい郷土出身の関取やそばっちななどで何パターンかの CM を作って流してもいいと思います。お年寄りはテレビで時代劇等の再放送を見るのが好きな人が多いのでそうした番組でその CM を流せばよいと思います。朝のワイドショーなども見ていると思います。

【問6 つづき 6】

・警察官が注意喚起のために家庭訪問をするというのは、これも詐欺師が偽警察官になって詐欺を行う可能性も出てくるため一概にすればいとも思えないと思います。総じて一人暮らしの高齢者（高齢者に限ったわけではありませんが）は孤独で訪問販売の人にいろいろ家族構成などを話してしまう傾向があるようです。電話での詐欺のみならず訪問販売を装う詐欺も早急に対策を考えないといけないと思います。少しそれますが詐欺のみならず闇バイトによる強盗なども今は怖いですね。

・もっと、どんどん話しかけて（例えば・・・ATMなどで銀行員さんが立ち会うとか）少しでも“おかしいな・・・”と思ったら相手に声をかけるなど。→TVのCMとかで流しても良いのでは？（ドラマ風にして）長くなりますが・・・。

以前、水沢に住んでおり、近所の銀行へ行ったとき、ATMでウロウロ悩んでいる老人がいたので、思わず声をかけました。銀行の中に入ってすぐ担当の方にATMまで出てきてもらい話したら、“あー・・・そうですかあー？”と言われてイヤな顔をされたのです。銀行の方にそんな風に言われてから心配した私がバカみたいに思えて。岩手県は正直言うと“平和バカ”になってます！

・メディア情報波の活用。

・テレビ（特に高齢者）は見ると思うのでマスメディアを通じて強化すればいいと思う。

○ その他意見・要望

・実際に詐欺が疑われる電話がかかってきたら、警察に通報してはどうだろうか。そうすれば、どの地域でどんな詐欺電話がかかってきているのか情報収集や情報の分析に役に立つのではないかと思う。

私の家にも何回かそういう電話がきており、留守電メッセージを聞いてみると、高齢者は騙されそうな内容だと感じる。

何回か電話があっても被害はないので、警察に連絡するのもためらわれる。（そんなことで電話してはいけないと思っている）あやしい電話が来たら即警察に相談できると特殊詐欺被害も少しは防げるのではないだろうか。

・固定電話以外にも、携帯電話にもカナダ発の意味不明の電話がきます。自分から注意していかなければならない時代になったかなと、思います。

全て便利になったと思ったら気がつかないところで、危険が迫ってきている。生涯教育の一環で、携わっていかなければならない。

・県単位での大きい取り組みと市町村の警察署、交番などによる取り組みとあると思いますが、私の住んでいる地域では警察署の方々の取り組みがすばらしく、きめ細かく、いき届いていると思います。

地域との連携もなされており、たのもしく感じしております。

・販売・乗りかえなど、電話のみによる営業活動に規制をかけられないかと思う。最近は、正規の営業活動も電話のみという所が多くなり、迷惑電話との区別が難しくなっている。

・詐欺師らを徹底的に摘発し、厳罰に処すことが極めて重要です。

・固定電話に無言電話や、どこかで調べてかセールスの電話が多くなったので、直接電話に出す、留守電に切り替えています。自分では、心掛けている気はしますが、やはり不安です。落ち着いて対応するように思っています。

【問6 つづき 7】

・自分は大丈夫が一番危ないと思うので そう思っている人はいくら周りが注意しても難しいと思うので高額の振込や資金移動の際の確認や声かけが見守ることができる一つではないでしょうか。

防犯カメラの設置、街頭設置、見守りや、高齢者などのスマホを確認できるような対策が良いと思います。

・首都圏では特殊詐欺から、闇バイトに移行していることを講演会で聞きました。水際対策を万全にお願い致します。

・実際に県内で起こった事例の周知。

・詐欺師や詐欺グループ、闇バイトの逮捕および重罪を科すことで犯罪を抑止する。

犯罪をやられっぱなしなので被害が減らないのだと思う。

・「特殊詐欺」という言葉が「特殊なもので、一般市民はひっかかるのではない」という思い込みにつながっていると思う。別の名称に変えて誰でも被害のおそれがあるということを認識してもらうようにすべき。

・詐欺かもしれない、おかしいと思ったらすぐに相談。

電話が通じないことのないようにお願いします。

以 上